



特定非営利活動法人
市民社会創造ファンド
年次報告書

2022 年度 事業報告・決算

2023 年度 事業計画・予算

はじめに 理事長あいさつ

2022 年度 事業報告・決算

2023 年度 事業計画・予算

役員

参考資料

2022 年度事業報告および 2023 年度事業計画の公開に寄せて

特定非営利活動法人 市民社会創造ファンド
理事長 山岡 義典

市民社会創造ファンドでは、2021 年 9 月に中期ビジョンを定めた。21 年度 (21.10—22.9) を初年度とした 5 か年計画で、次の 5 つの機能を特定した。

すなわち、①インターメディアリー機能、②コンサルテーション機能、③フォローアップ機能、④ネットワーク機能、⑤パブリシティ機能である。これまでは専ら①を重点に活動し、②以下は補足的な機能として可能な範囲で適宜行ってしてきたわけだが、これらも計画的に、また可視化できる形で取り組むべきとの決意を示したわけである。

ビジョンは 21 年度 (2021.10-22.9) が初年度であるが、その下期 (22.4-9) はファンド設立 20 周年期間と重なるため、ビジョン実現に向けての様々な試行的事業を展開した。その纏めとして開催したのが、22.9.15 の 20 周年記念フォーラム「市民社会にとっての“豊かな資金源”とは？」であった。

市民ファンド、コミュニティ財団、民間助成財団、企業、行政で市民活動助成に携わる人、NPO やその中間支援組織、企業・大学・行政等で市民活動助成に関心のある人々など幅広い層の方に参加いただいた。次年度から展開構想中の研修交流会の、ある意味でモデル事業、先行試行ともいえる。

22 年度 (22.10-23.9) はビジョン 2 年目にあたり、いよいよ通年事業としての着実な展開が求められる。といっても限られたリソースですべての機能を稼働させるには無理がある。すべての機能を視野に入れつつ活動することは重要だが、まずは④に重点を定めることにした。それが「助成担当者のための研修交流事業」で、“助成を「出す」編”と“助成原資を「集める」編”を交互に年 2 回行うことにした。その第 1 回が 23.8.31 開催の「出す」編で、テーマは「豊かな関係性をつくる助成事業を目指して」。対面とオンラインのハイブリッドでの開催で各地から様々な立場の人が多数参加した。多くの気付きと出会いの熱い場となったのではないかと自賛している。

23 年度 (23.10—24.9) の事業計画では、第 2 回と 3 回を予定している。第 2 回は 24.2.15、「集める編」として「市民活動を支える多様な資金調達をめざして」をテーマに開催、第 3 回は半年後の 8 月に開催予定である。

この研修交流会は未だ試行段階で遅々とした歩みではあるが、1 回参加して終わりではなく、度重ねて参加することに意味がある。全国の様々な助成の担い手が度重ねて顔を合わせ、遠慮なく思いを伝えあえる関係になることで、全国の市民活動助成の質を高めていく。助成哲学が深まっていく。

ともかく、一步一步でいい、工夫を重ねて地道に育ててほしい事業である。参加者が企画者として協力できるような仕組みも生まれてくれば、実に素晴らしい。



2022 年度 事業報告・決算

2022 年 10 月～ 2023 年 9 月

◆総会および理事会の開催

内容	開催日	議題
○2022年度 通常総会	2022年12月19日 (第73回理事会 と合同)	①2021年度事業報告および決算の報告 ②2022年度事業計画および予算の承認 ③定款変更の件 ④追加理事選任の件
○第71回理事会	2022年10月17日	①市民社会創造ファンドの今後の組織および事業のあり方
○第72回理事会	2022年11月17日	①市民社会創造ファンドの今後の組織および事業のあり方 ②総会提案事項（事業計画案および予算案、定款変更案、追加理事候補案） ③事業報告案および決算案の説明
○第73回理事会	2022年12月19日 (総会と合同)	①2021年度事業報告（案）および決算（案）の承認
○第74回理事会	2022年12月19日	①専務理事選任の件
○第75回理事会	2023年2月3日	①今後の理事会の持ち方について
○第76回理事会	2023年4月27日	○新規事業と各助成プログラム等の報告等
○第77回理事会	2023年6月28日	○2022年度上期の事業経過報告および下期の事業予定等
○第78回理事会	2023年9月15日	①2023年度 暫定事業計画（案） ②2023年度 暫定予算（案）

【解説】

- ・中期ビジョンに基づき、組織および事業のありかたについて役員と密なコミュニケーションをはかるため、理事会を2カ月に1回の開催とした。

【解説】

◆基盤強化プログラム

(1) : NPO支援組織スタッフ強化助成

事業報告

*9/12-13

「NPO/NGO『支援力』応援プログラム 現場の声から学ぶ！ 組織診断サポート研修」
主催：日本NPOセンター

→集合研修分、参加者交通費助成の実施。（7名、107,380円）

- ・今年度は1件（1企画）のみ助成を行った。

(2) : 助成担当者のための研修交流会 (全2回) ※22年度より実施

事業報告

1回目 助成金を「出す」編 ～豊かな関係性を創る助成事業を目指して～

日時：2023年8月31日(木) 13:30～17:00

会場：SOOO dramatic!!

参加者：77名(関係者含) ※うちオンライン25名



【解説】

- ・2022年度の新たな取り組み。トヨタ財団の助成を受けて実施した「市民ファンド推進プログラム」(2015年度～2020年度)の研修事業をもとに自主事業として実施。ファンド理事とスタッフによる準備会を経て企画化した。
- ・市民活動助成は、助成に関わる人も学び成長しながら、市民活動団体との関係性を育むものと捉え、そのための「工夫」や「思い」をあらためて言語化していく。

<第1回 助成金を「出す編」>

●プログラム

開会／開会挨拶 渡辺元(市民社会創造ファンド 副理事長)

第1部

○基調講演

「市民活動助成のこれまでとこれから～プログラム・オフィサーの位置づけと役割を考える～」

山岡義典(市民社会創造ファンド 理事長／法政大学 名誉教授)

第2部

○事例報告と意見交換

武藤良太氏(公益財団婦人トヨタ財団国内助成グループグループリーダー／プログラム・オフィサー)

岡田朋子氏(東急株式会社社長室 ESG 推進グループ 主査)

実吉威氏(公益財団法人ひょうごコミュニティ財団 代表理事)

進行：田尻佳史氏(認定特定非営利活動法人日本NPOセンター 常務理事)

第3部

○グループ交流

「事例報告と意見交換を踏まえて共に語ろう～助成を通して育む豊かな関係づくり～」

閉会挨拶 安藤雄太(市民社会創造ファンド副理事長)

★第2回目 助成原資を「集める」編を 2024年2月15日(木)に開催。



◆基盤強化プログラム

(3) : HPの改定とメルマガの発信

HPの改定

事業報告

- ・デザイナー、WEBディレクターとの打ち合わせ
要件定義書の確認とデータの提供
- ・デザインの決定
- ・開発、テストページの公開（12月）

メルマガの発信

事業報告

- ・2023年6月～9月はプレ発信（各月1回 月初）、10月より会員・賛助会員向けに発信中。
- ・8月からは理事のコラムを掲載

【解説】

- ・新 HP では、ファンドのビジョンや各事業の位置づけを明確に示した。また会員や寄付の拡大も意識して構築した。また、これまで全て外注していた更新作業を全てスタッフで行えるようシステムを組んだ。スマートフォンにも対応。
- ・22年度の新たな取り組みとして、メルマガの発信を始めた。1年の業務、スタッフの動きが見えるように努めた。コミュニケーションツールとしても機能し始めている。



（４）タケダ・ウェルビーイング・プログラム（計画型助成）

長期療養の子どもたちに“生きる力”を

寄 付：武田薬品工業株式会社
助成期間：プロジェクトごとに設定
助成金額：50万円～200万円
助成総額：800万円
継続助成：最大3年まで

【解説】

- ・計画型の助成（非公募）として、ファンドよ対象となる NPO に声をかけ、団体と対話しながらプロジェクトを作り上げて助成するもの。
- *写真は助成対象団体同士のするオンライン交流会の様子。

●1年の流れ

- ・2022 年度助成のフォローアップ（助成対象：新規 3 件、継続 2 件）
- ・2022 年度助成対象団体オンライン交流会の開催（2023 年 2 月 7 日）
- ・2023 年度助成の検討・候補団体調査
- ・2023 年度助成第 1 回審査会の実施（3/15）（助成対象：新規 2 件）
- ・2023 年度助成第 2 回審査会の実施（6/15）（助成対象：新規 2 件、継続 3 件）
- ・2022 年度寄付報告（6/28）





（５）ハマダ基金プログラム（計画型助成）

生活上の困難をもつ人々の救援

寄 付：個人
助成期間および助成金額：プロジェクトごとに設定

【解説】

- ・計画型の助成（非公募）として、個人の一括した寄付（通称ハマダ基金）にもとづいて当ファンドが自主的に行うもの。助成期間はプロジェクトごとに設定している。
- ・2024年の完了報告書をもって、本プログラムは終了する。

●1年の流れ

- ・2022年助成団体のフォロー
団体名：女性と子ども支援センターウィメンズネット・こうべ
プロジェクト名：困難を抱える女性のための居住支援プロジェクト
助成期間：2022年4月～2024年3月（2年間）
助成金額：300万
- ・中間報告書の受領・インタビュー（10月）



新規事業

(6) 「ジョンソン・エンド・ジョンソン」助成事業 企画開発調査

事業報告

(期間：7月～12月)

- ・調査の実施（概況調査、テーマ設定、インタビュー調査、モデル助成の仕組み構築など）
- ・プログラム骨子の作成

(7) 「タケダ・いのちとくらし再生プログラム」第2期事業評価

事業報告

(期間：7月～3月)

- ・自主・連携事業、組織基盤強化事業の評価
 - －助成事業の評価とあわせて取りまとめ。
 - －対象事業の座談会、インタビュー、アンケート

【解説】

(6) 「ジョンソン・エンド・ジョンソン」助成事業 企画開発調査

- ・ジョンソン・エンド・ジョンソンで実施している JCI（ジャパン・コミュニティ・インパクト）による助成事業をリニューアルするための企画開発に協力した。

●1年の流れ

- ・企画開発調査の実施（7月～11月）
- ・報告書の提出（12月）
- ・2024年度 モデル助成の準備（2024年1月～）

(7) 「タケダ・いのちとくらし再生プログラム」第2期事業評価

- ・日本 NPO センターが武田薬品工業株式会社から寄付を受けて、岩手県・宮城県・福島県を対象に実施する復興事業支援プログラム（2011年～2021年）。ファンドでは、日本 NPO センターからの委託を受け 2021年度に第1期の助成事業について評価を行った。
- ・2022年度は、第2期（2015年～2021年）の事業についての第三者評価を行った。



心とからだのヘルスケアに関する 市民活動・市民研究支援



主 催：ファイザー株式会社
助成期間：1～12月（1年間）
助成金額：50万円～300万円
助成総額：3,000万円（見込）
継続助成：3年まで

【解説】

- ・ 23 回目となる今回も例年どおりに実施。ただし、25 年助成から継続助成の選考を廃止するため、継続助成は 3 年目のみの募集となった。（継続助成のしくみは廃止となるが、今後も連続 3 年を上限に助成は可。）

●1 年の流れ

- ・ 2023 年助成開始、結果を公表
（助成対象：新規 8 件、継続 8 件、助成総額：2,920 万円）
- ・ 2023 年助成のフォローアップ
7 月～8 月 中間報告書受領・中間インタビュー
- ・ 2024 年 新規助成の公募・選考
7 月～9 月選考（予備選考、本選考、ヒアリング、選考委員長決裁会合）
- ・ 2024 年継続助成の募集・選考
9 月選考（プレゼンテーション付き選考）

(9) Panasonic NPO/NGOサポートファンド for SDGs (国内助成)

「貧困の解消」に向けて取り組むNPOの組織基盤の強化

主 催：パナソニック オペレーショナルエクセレンス株式会社
助成期間：1～12月（組織診断）※
 1～12月（基盤強化）
助成金額：150万円（組織診断）※
 200万円（基盤強化）
助成総額：1500万円
継続助成：組織診断コース 3年
 基盤強化コース 2年



※2023年より変更

【解説】

- ・2023年募集（2024年助成開始）より、組織診断助成を改定。助成期間を8カ月から12か月に、助成金額の上限を100万円から150万円に変更した。

●1年の流れ

- ・2021年助成（2022年助成開始）のフォロー（成果報告書受領）
助成対象：10件（新規5件、継続5件）
- ・2021年助成成果報告会の実施（2023年3月7日開催）
- ・2022年助成（2023年助成開始）の決定
助成対象：9件（新規5件、継続4件）
助成総額：1421万円
- ・2022年助成のフォローアップ
（中間報告書受領・中間インタビュー）
- ・2023年助成（2024年助成開始）の実施とフォローアップ
 - －4月公募開始、新規および継続応募受付
 - －予備審査の実施（8月）、本選考委員会の開催（9月）

(10) スミセイ コミュニティスポーツ推進助成プログラム

コミュニティスポーツによる健やかな暮らしと文化の醸成



主 催：住友生命健康財団
助成期間：4～3月（1年間）※アドバンスは2年間
助成金額：チャレンジコース50万円／アドバンスコース300万円
助成総額：2,000万円（見込）
継続助成：なし

【解説】

- ・2020年にプログラムを改定し、2年一括助成を前提とするアドバンスコースを創設した。2年という助成期間の成果がみられる結果となった。
- ・コロナ禍をきっかけに始まった、全助成対象団体が集まるオンライン交流会から、参加団体のコラボレーション企画が生まれている。

※画像は成果インタビューレポート（住友生命健康財団のHPに掲載）

●1年の流れ

- ・2023年助成開始、結果を公表
助成対象：チャレンジコース25件、アドバンスコース5件、助成総額2,477万円
（アドバンス2年目4件含む）
- ・成果インタビューレポートのWEB掲載（12件）
- ・2022年助成フォローアップ
－4月末完了報告の受領・確認
- ・2023年助成フォローアップ
－オンライン交流会の実施（5/18）
- ・フォローアップアンケートの実施（8月～9月）
- ・2024年助成の公募と選考
－2023年8月公募、9月～選考



(11) 東急子ども応援プログラム

子どもたちの幸せを支える地域の活動の応援



主 催：東急株式会社
助成期間：4～3月（1年間）
助成金額：100万円以内
助成総額：1,000万円（見込）
継続助成：あり（2年まで）

【解説】

- ・東急線沿線の17市区内における、子どもたち一人ひとりが望む「幸せ」につながる活動を応援。
- ・2020年、コロナ禍にプログラムを創設。3回目の助成を決定した。23年7月には、初めて対面での完了報告会が開催された。

●1年の流れ

- ・2023年助成開始、結果公表（23年3月）
助成対象：新規8件、継続5件
助成総額：1,250万円
- ・2022年助成の完了報告会（7/1）
- ・2024年助成の公募と選考（2023年8月公募、9月～選考）

特定非営利活動法人 市民社会創造ファンド

2022年度【一般財産】決算(単位:円)

(2022年度:2022年10月1日~2023年9月30日)

	2022年度 予算	2022年度 決算	予算比
<収入>			
A 会費収入	1,500,000	520,000	△ 980,000
A-1 個人正会員 受取会費	600,000	260,000	△ 340,000
A-2 NPO/法人正会員 受取会費	900,000	240,000	△ 660,000
A-3 個人賛助会員 受取会費		20,000	20,000
A-4 NPO/法人賛助会員 受取会費			0
B 寄付金等収入	13,369,130	12,140,826	△ 1,228,304
B-1 一般寄付	1,500,000	156,341	△ 1,343,659
B-2 指定寄付金	11,000,000	11,115,355	115,355
B-3 指定助成金	869,130	869,130	0
C 自主事業収入	500,000	233,000	△ 267,000
D 受託事業収入	21,800,000	21,403,626	△ 396,374
D-1 一般助成事業	15,700,000	16,175,626	475,626
D-2 新規・特別事業	6,100,000	5,228,000	△ 872,000
雑収入	0	82,820	82,820
当期収入合計	37,169,130	34,380,272	△ 2,788,858
<支出>			
a 助成金支出	9,300,000	8,627,380	△ 672,620
a-1 自主プログラム	300,000	107,380	△ 192,620
a-2 指定寄付による助成金支出	9,000,000	8,520,000	△ 480,000
b 助成等活動費	23,459,130	23,159,179	△ 299,951
b-1 人件費	15,000,000	15,700,480	700,480
b-2 活動経費	1,600,000	1,846,274	246,274
b-3 謝金等経費	1,100,000	1,003,829	△ 96,171
b-4 事務経費	2,000,000	2,252,662	252,662
b-5 地代家賃	2,290,000	2,270,400	△ 19,600
b-6 指定助成業務費	869,130	0	△ 869,130
b-7 20周年事業関連費	600,000	85,534	△ 514,466
c 一般管理費	4,410,000	4,070,719	△ 339,281
c-1 人件費	1,800,000	1,803,464	3,464
c-2 事務経費	500,000	563,165	63,165
c-3 地代家賃	650,000	581,490	△ 68,510
c-4 租税公課	1,300,000	1,122,600	△ 177,400
c-5 予備費	160,000	0	△ 160,000
経常費用計	37,169,130	35,857,278	△ 1,311,852
当期 一般正味財産増減額	0	△ 1,477,006	△ 1,477,006
前期 繰越一般正味財産額	3,313,641	3,313,641	0
次期 繰越一般正味財産額	3,313,641	1,836,635	△ 1,477,006

特定非営利活動法人 市民社会創造ファンド

【指定財産】 2022年度決算(単位:円)

(2022年度:2022年10月1日~2023年9月30日)

	一般科目	2022年度 予算	2022年度 決算	予算比
指定財産寄付金 ハマダ基金 プログラム	指定寄付・助成収益	0	0	0
	受取寄付金			0
	受取助成金			0
	その他収益			0
	一般正味財産への振替額	0	0	0
	助成金			0
	ファンド運営費			0
	指定助成業務費			0
その他払出			0	
収支差額	0	0		
前期末指定正味財産	0	0		
今期末指定正味財産	0	0		
指定財産寄付金 タケダ・ ウェルビーイング ・プログラム	指定寄付・助成収益	10,000,000	10,250,000	250,000
	受取寄付金	10,000,000	10,000,000	0
	受取助成金		0	0
	その他収益		250,000	250,000
	一般正味財産への振替額	11,000,000	11,115,355	115,355
	助成金	9,000,000	8,520,000	△ 480,000
	ファンド運営費	2,000,000	2,595,355	595,355
	指定助成業務費		0	0
その他払出			0	
収支差額	△ 1,000,000	△ 865,355	134,645	
前期末指定正味財産	2,507,108	2,507,108	0	
今期末指定正味財産	1,507,108	1,641,753	134,645	
指定財産助成金 市民ファンド 推進プログラム (トヨタ)	指定寄付・助成収益	0	0	0
	受取寄付金			0
	受取助成金			0
	その他収益			0
	一般正味財産への振替額	869,130	869,130	0
	助成金			0
	ファンド運営費	169,130	869,130	700,000
	指定助成業務費	600,000	0	△ 600,000
その他払出		0	0	
収支差額	△ 869,130	△ 869,130	0	
前期末指定正味財産	869,130	869,130	0	
今期末指定正味財産	0	0	0	
合 計	指定寄付・助成収益	10,000,000	10,250,000	2,000,000
	受取寄付金	10,000,000	10,000,000	0
	受取助成金	0	0	0
	その他収益	0	250,000	250,000
	一般正味財産への振替額	11,769,130	11,984,485	1,984,485
	助成金	9,000,000	8,520,000	△ 480,000
	ファンド運営費	2,169,130	3,464,485	1,295,355
	指定助成業務費	600,000	0	△ 600,000
その他払出	0	0	0	
収支差額	△ 1,869,130	△ 1,734,485	134,645	
前期末指定正味財産	3,376,238	3,376,238	0	
今期末指定正味財産	1,507,108	1,641,753	134,645	

一般正味財産への振替額

収益の項	指定財産寄付金 (B-2)	10,000,000	11,115,355	1,115,355
	指定財産助成金 (B-3)	0	869,130	869,130
	計	10,000,000	11,984,485	1,984,485
支出の項	指定財産助成金 (a-2)	9,000,000	8,520,000	△ 480,000
	ファンド運営費 (b-1~6の一部に充当)	2,169,130	3,464,485	1,295,355
	指定助成業務費 (b-6)	600,000	0	△ 600,000
	計	11,769,130	11,984,485	215,355

特定非営利活動法人 市民社会創造ファンド
貸借対照表
(2023年9月30日現在)

(単位：円)

科目	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	3,409,730		
未収入金	3,008,500		
前払金	236,500		
仮払金	840,053		
流動資産合計		7,494,783	
2. 固定資産			
事務所保証金	1,200,000		
固定資産合計		1,200,000	
資産合計			8,694,783
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払い金	405,529		
預り金	810,866		
流動負債合計		1,216,395	
2. 固定負債			
長期借入金	4,000,000		
固定負債合計		4,000,000	
負債合計			5,216,395
III 正味財産の部			
一般 正味財産	1,836,635		
指定 正味財産	1,641,753		
正味財産（一般、指定）			3,478,388
負債および正味財産合計			8,694,783

特定非営利活動法人 市民社会創造ファンド
貸借対照表
(2023年9月30日現在)

(単位：円)

科目	金 額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金	3,409,730	
みずほ銀行普通預金（銀座支店）（一般用）	1,755,731	
みずほ銀行普通預金（丸之内支店）（会費・寄付用）		
みずほ銀行普通預金（丸之内支店）（指定用ハマダ）		
みずほ銀行普通預金（丸之内支店）（指定用タケダ）	1,641,753	
みずほ銀行普通預金（銀座支店）（指定用トヨタ）		
みずほ銀行普通預金（銀座支店）（オンラインバンク用）	12,246	
未収入金	3,008,500	
前払金	236,500	
仮払金	840,053	
流動資産合計		7,494,783
2. 固定資産		
事務所保証金	1,200,000	
固定資産合計		1,200,000
資産合計		8,694,783
II 負債の部		
1. 流動負債		
未払い金	405,529	
預り金	810,866	
健康保険	93,358	
厚生年金	197,654	
労働保険	68,587	
所得税	127,551	
地方税	207,300	
謝金源泉税	78,730	
ファンド講師謝金	11,000	
その他	26,686	
流動負債合計		1,216,395
2. 固定負債		
長期借入金	4,000,000	
固定負債合計		4,000,000
負債合計		5,216,395
III 正味財産の部		
一般正味財産	1,836,635	
指定正味財産	1,641,753	
タケダ・ウェルビーイング・プログラム	1,641,753	
正味財産計		3,478,388
負債および正味財産合計		8,694,783

2023 年度 事業計画・予算

2023 年 10 月～ 2024 年 9 月

◆2023年度事業計画—中期ビジョンに基づく新たな取り組み



運営に関する事項

1. 広報活動の充実

【重点目標】信頼されるファンドの可視化

① 広報委員会の運営

・ファンド役員を中心に広報委員会を設置する。ファンドの広報に全般関する戦略を立てる。広報力を高め、団体としての信頼性の向上をはかるとともに、新規事業の開発や会費・寄付の増加に努める。

* 頻度：委員会の開催（1～2カ月に1回程度）

② ホームページでの情報発信

・現在、リニューアル中のファンドHP（2023年12月公開予定）について、コンテンツを充実させるとともに、更新頻度をあげる。メルマガとの連動やSEO対策など、アクセスの向上に務める。

* 頻度：適宜

* 予算：80万円（HP構築時の費用）

③ 1 理事1企画の実施

・ファンドの各理事発案による企画を実施する。会員のみならず広く一般にファンドについて知る機会とするため、理事の関連する施設などに赴くことを心がける。あるいはオンラインを活用する。

* 頻度：3～4カ月に1回程度

* 予算：1回あたり4～5万円（会場費、登壇者謝金、交流会費）

1

◆2023年度事業計画—中期ビジョンに基づく新たな取り組み



事業に関する事項

基盤強化プログラム

1. 助成担当者のための研修・交流会の充実

【重点目標】NPO支援センター等との連携

① 勉強会・分科会の立ち上げと運営

・ファンド役員および研修・交流会の参加者による勉強会・分科会を立ち上げる。勉強会では、助成担当者に必要な学びと交流の機会について検討する。参加者自らの学びの機会とするとともに、2024年の夏頃に開催する研修・交流会の企画検討の場とする（実行委員会を兼ねる）。

* 頻度：1～2カ月に1回程度

2

◆総会および理事会の開催

総会および理事会



内容	開催日	議題
○2023年度 通常総会	2023年12月21日	①2022年度事業報告および決算の報告 ②2022年度事業計画および予算の承認 ③次期役員を選出
○第79回理事会	2023年11月	①2022年度事業報告案および決算案の承認 ②2023年度事業計画案および予算案の承認 ③次期役員を推薦
○第80回理事会	2023年12月21日 (通常総会後)	①理事長、副理事長および専務理事の選任
○第81回理事会	2024年2月	
○第82回理事会	2024年4月	
○第83回理事会	2024年6月	
○第84回理事会	2024年9月	○新規事業と各助成プログラム等の報告等

3

◆運営に関する事項



●中期ビジョンの推進に向けた事業展開

・中期ビジョン策定委員会の提示した5カ年計画の3年度目となり、2021年度に行ったファンド設立20周年記念特別事業を土台として、そのビジョンの推進に取り組む。

●組織運営体制と事業展開のあり方の見直し改革

・中期ビジョン推進のためにも、現在の運営体制を見直し、総会や理事会で議論を尽くしつつ組織改革を実現する。

●会員および寄付の拡大

・ファンドの意義を積極的に広報し、会員の獲得をめざす。

・NPO支援組織の基盤強化事業の実施と充実に向け、個人、企業、財団等に呼びかけ、随時 寄付や助成を依頼する。

●年次報告書の公開

・2022年度事業報告・決算報告を、通常総会承認後できるだけ早い時期に、Webサイトにおいて公開する。

4

◆基盤強化プログラム



(1) NPO支援組織スタッフ強化助成

この助成は、民間のNPO支援組織による、全国または地域ブロック単位で実施する研修プログラムを対象とし、主催者には外部講師の謝金・交通費を、参加者（民間のNPO支援組織のスタッフに限定）には交通費の一部に助成するもの。なお、当ファンドの関係者が所属する組織の研修の場合は、ファンドが共催することにより分担金として支払う。本助成については、「自主助成プログラム」の展開とすることも含めて、今後仕組みを再検討する。

(2) : 助成担当者のための研修交流事業

市民ファンド／コミュニティ財団、助成財団や助成を行う企業等の関係強化を目的として2023年8月31日に開催した「助成担当者のための研修交流会」の第2回目を、24年2月15日に開催する。第3回は24年8月に開催予定。研修交流事業の定期開催と合わせ、分科会・研究会の立ち上げに向けて、外部の参加者を含む企画運営委員会を組成する。

5

◆基盤強化プログラム



(3) 新規の助成プログラムの企画開発および助成関連事業等の相談対応

企業や財団等に向けたセミナーやシンポジウムを企画・実施し、新たな助成プログラムの企画開発やその運営協力、その他の評価事業等の関連事業への協力につなげる。

(4) 広報ツールの強化

ファンドの価値や理念の理解を促進するため、Webサイト (<http://www.civilfund.org>) を改訂し、2023年12月に公開する。改訂したWebサイトでは、個人情報の保護に留意しつつ、積極的に市民社会創造ファンドの実績や諸活動を伝え、公開していく。また、毎月1回、会員向けのメールマガジンを発信するなど、会員や寄付獲得につなげる情報発信も積極的に行っていく。

6

◆助成プログラム（自主）



（１）自主プログラムの検討と実施

当ファンド独自で立ち上げる助成プログラムについて検討を始める。そのための寄付を募集するとともに、会員の拡充につとめる。プログラムの立ち上げについては運営委員会を組成する。NPO支援組織スタッフ強化助成との関連性については引き続き検討する。

7

◆助成プログラム（特定）



（１）タケダ・ウェルビーイング・プログラム（計画型助成）

長期療養の子どもたちに“生きる力”を

- * 武田薬品工業株式会社の年度毎の寄付により当ファンドが自主的に行うもの。
- * 計画型（公募はしない） * 助成期間：プロジェクトごとに設定

1) 2023年助成のフォロー

23年4月以降に助成を開始した7件について適宜フォローを行い、助成開始時期に応じて中間時点で中間報告書の受領及びインタビューの実施、助成終了後には完了報告書を受領する。

2) 2024年助成の検討・実施・フォロー

前年の実施を踏まえ支援の現状とニーズを調査し、24年4月～25年3月の間に助成する候補団体の調査・インタビューを行い、審査会において助成を決定する。決定した助成対象については、適宜フォローを行う。

3) 中間交流会の企画・実施

23年助成対象団体を対象に24年2月に中間交流会をオンラインにて実施予定。

4) 実施報告

23年の実績及び成果について、24年6月末までに武田薬品工業に報告する。

8

◆助成プログラム（特定）



（５）ハマダ基金プログラム（計画型助成）

生活上の困難をもつ人々の救援

- * 個人の一括した寄付（通称ハマダ基金）にもとづいて当ファンドが自主的に行うもの。
- * 計画型 * 助成期間：プロジェクトごとに設定

1) 2021年助成のフォロー

2022年7月の審査で決定した「女性と子ども支援センターウィメンズネット・こうべ」が行う「困難を抱える女性のための居住支援プロジェクト」（2022年8月～2024年3月）への助成をフォローする。24年4月末までに完了報告書を受領し、プロジェクトの成果と課題を確認する。プロジェクトの変更などには柔軟に対応する。

なお、ハマダ基金プログラムは、本件の完了報告書を受領確認をもって終了する。

9

◆助成プログラム（協力）



（１）ファイザープログラム

～心とからだのヘルスケアに関する市民活動・市民研究支援～

- * ファイザー株式会社の助成事業に当ファンドが協力して行うもの。
- * 応募受付時期：6月 * 助成期間：1月～12月

1) 2022年応募（2023年助成）のフォロー

23年1月に助成を開始した本助成対象の16件（新規：8件、継続：8件）について、ファイザー株式会社と連携してフォローを行う。助成終了後、24年1月末までに完了報告書を受領し、各プロジェクトの成果と課題を確認する。

2) 2023年応募（2024年助成）の実施とフォロー

応募要項の一部修正や受付フォーム入カシステムを構築し、受付業務の効率化を図り公募・選考を行った。23年10月に助成を決定し、24年1月の助成開始後には、ファイザーと連携してフォローを行う。5月から6月にかけて中間インタビューを実施、7月末までに中間報告書を受領してプロジェクトの進捗を確認し、助成終了まで継続してフォローを行う。また、23年助成をもって継続助成を終了する。

3) 2024年応募（2025年助成）の検討と実施

前年の実施を踏まえ、ファイザー株式会社と運営方法等について協議を行う。24年4月に公募を開始し、6月30日に応募を締め切る。7月～10月に選考を行い、10月に助成を決定する。

10

◆助成プログラム（協力）



（２）Panasonic NPO/NGOサポートファンド for SDGs（国内助成）

～「貧困の解消」に向けて取り組むNPOの組織基盤の強化～

* パナソニック オペレーショナルエクセレンス株式会社の助成事業に当ファンドが協力して行うもの。

* 応募受付時期：7月～8月 * 助成期間：1月～12月

1）2022年応募（2023年助成）のフォロー

23年1月に助成を開始した9件（組織診断コース：新規3件・継続4件、組織基盤強化コース：新規2件）について、パナソニックと連携してフォローを行い、組織診断コースは9月末までに、組織基盤強化コースは24年1月末までに成果報告書を受領し、2月頃に成果報告会を開催して、助成事業の成果と課題を確認、共有する。

2）2023年応募（2024年助成）の実施とフォロー

前年に準じて公募・選考を行い、23年12月に助成を決定する。24年1月の助成開始後はパナソニックと連携してフォローを行う。組織診断コースおよび基盤強化コースともに7月に中間インタビューを実施し、7月末までに中間報告書を受領して、助成事業の進捗を確認する。助成終了後は、2024年1月までに成果報告書を受領し、助成事業の成果と課題を確認する。なお、組織診断コースは成果報告書に加えて組織診断結果報告書を受領する。

11

◆助成プログラム（協力）



3）2024年応募（2025年助成）の検討と実施

前年の実施を踏まえ、パナソニックと運営方法等について協議する。それに基づき、新規については24年4月に公募を開始し、8月～11月に予備選考と本選考を行い、12月に助成を決定する。継続については24年6月に募集を開始し、9月～11月に選考を行い、12月に助成を決定する。

12

◆助成プログラム（協力）



（3）スミセイ コミュニティスポーツ推進助成プログラム

～コミュニティスポーツによる健やかなひとづくりと社会づくりに向けて～

- * 公益財団法人住友生命健康財団の助成事業に当ファンドが協力して行うもの。
- 第Ⅰ期は2010年より、第Ⅱ期は2016年より、第Ⅲ期は2021年より開始。
- * 応募受付時期：9月 * 助成期間：4月～翌年3月

1) 2023年助成のフォロー

23年4月に助成を開始した30件（チャレンジコース（新規）：21件、チャレンジコース（連続）：4件、アドバンスコース1年目：5件、アドバンスコース2年目：4件）について、23年10月末日までに中間報告書を受領し、各プロジェクトの進捗を確認する。アドバンスコースについては、10月から11月にかけて中間インタビューを実施する。その後、引き続き住友生命健康財団と連携してフォローを行い、助成終了後、24年4月未までに完了報告書（アドバンスコースは中間報告書）を受領し、各プロジェクトの成果や経過を確認する。

2) 2024年助成の実施とフォロー

24年助成は、23年8月に募集を開始した。9月～2月に選考、24年2月に助成を決定、4月から助成を開始する。助成開始後は住友生命健康財団と協議しながら助成対象団体のフォローを行う。

13

◆助成プログラム（協力）



3) 2025年助成の検討と実施

前年の実施を踏まえ、住友生命健康財団と運営方法等について協議する。それに基づき、新規については24年8月に公募を開始し、9月～10月に予備選考、12月に本選考を行い、25年2月に助成を決定する。

4) コミュニティスポーツに関する情報発信

コミュニティスポーツの取り組み事例とその意義を社会に発信するため、23年3月末に継続助成が終了した6団体を対象に取材を行い、記事を作成し、順次、住友生命健康財団のホームページに掲載する。

5) 助成終了2年後アンケート調査の実施

助成終了後、2年が経過した団体に対して、24年9月から10月にかけて自己評価によるアンケート調査を実施し、助成プログラムの成果や課題を把握する。なお、これまでに蓄積されたデータの年次ごとの変化等についての分析を検討する。

14

◆助成プログラム（協力）



（４）東急子ども応援プログラム

* 東急株式会社の実施する助成事業に当ファンドが協力して行うもの。2020年開始。
* 応募受付期間：2月 * 助成期間：7月～翌年6月 * 地域限定公募
* この助成プログラムは、すべての子どもが安心・安全で心豊かに暮らせる生活環境づくりを応援するものとして、地域限定公募（東急線沿線市区内対象）により開始した。

1) 2023年助成のフォロー

24年3月までに助成を終了する13件に関して、東急株式会社が行う報告会やプロジェクトの成果の発信について協力する。

2) 2024年助成の実施

24年助成は、23年7月に募集を開始した。9月～12月に選考、24年1月に助成を決定、4月から助成を開始する。助成開始後は東急株式会社と協議しながら助成対象団体のフォローに協力する。

3) 2025年助成の検討

25年助成の内容等につき、東急株式会社と協議し検討する。

15

◆助成関連協力事業



（１）「タケダ・いのちとくらし再生プログラム」実施事業の評価

日本NPOセンターが武田薬品工業株式会社からの寄付を基金として実施された東日本大震災の復興支援事業「タケダ・いのちとくらし再生プログラム」の「自主・連携事業」および「組織基盤強化事業」に関し、各事業の評価を実施。既に実施済みの「公募助成事業」の調査結果も本評価と合わせて総合的な評価報告書を作成し、2024年3月に提出する。

調査対象： 自主・連携事業および組織基盤強化事業の計12事業

調査内容： 各事業の事業評価およびアウトカム評価、助成プログラムの総合評価

調査方法： 実施団体へのアンケート調査およびヒアリング調査

調査期間： 2023年6月～2024年3月

(日本NPOセンターから受託)

（２）「タケダ・いのちとくらし再生プログラム」事業報告書ダイジェスト版の作成

同「タケダ・いのちとくらし再生プログラム」の第1期および第2期について、広くプログラムの成果や効果を発信するためのダイジェスト版の冊子データを作成する。

実施期間： 2023年11月～2024年3月

(日本NPOセンターから受託)

16

◆助成関連協力事業



(3) 「ジョンソン・エンド・ジョンソン」新規助成プログラムの企画開発調査

ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社が実施するNPO市民活動向けの助成事業に関し、企画開発調査を行う。調査内容は報告書として2023年12月に提出する。

調査内容：テーマ設定、対象分野の概況調査、モデルプログラムの構築

調査方法：他の製薬会社などにおける市民活動助成のリサーチ、有識者および団体へのインタビュー、など

実施期間：2023年7月～2023年12月

(ジョンソン・エンド・ジョンソンから受託)

(4) 「ジョンソン・エンド・ジョンソン」モデル助成の実施

上記の企画開発調査結果をもとにプログラムの骨子を作成し、モデルプログラムとして運用する。あわせて、本助成に向けた公募や選考方法について検討する。

実施期間：2024年1月～2024年12月

(ジョンソン・エンド・ジョンソンから受託)

17

◆助成関連協力事業



(5) 上記以外の助成プログラムに関する評価

ファンド以外で実施した助成プログラムも対象に、助成事業に関する評価調査を受託し実施する。

(6) その他の関連協力事業

今後も出張研修事業等、様々な形の助成関連協力事業を受託し、実施する。

2023年度のスタッフ体制（2023年10月1日現在）
事務局長／シニア・プログラムオフィサー 山田 絵美
プログラム・オフィサー 駒井 雅子
以上

18

特定非営利活動法人 市民社会創造ファンド

2023年度【一般財産】予算（単位：円）

（2023年度：2023年10月1日～2024年9月30日）

	2022年度 決算	2023年度 予算
<収入>		
A 会費収入	520,000	1,100,000
A-1 個人正会員 受取会費	260,000	500,000
A-2 NPO／法人正会員 受取会費	240,000	500,000
A-3 個人賛助会員 受取会費	20,000	100,000
A-4 NPO／法人賛助会員 受取会費		
B 寄付金等収入	12,140,826	10,000,000
B-1 一般寄付	156,341	200,000
B-2 指定寄付金	11,115,355	9,800,000
B-3 指定助成金	869,130	0
C 自主事業収入	233,000	600,000
D 受託事業収入	21,403,626	21,700,000
D-1 一般助成事業	16,175,626	15,700,000
D-2 新規・特別事業	5,228,000	6,000,000
雑収入	82,820	0
当期収入合計	34,380,272	33,400,000
<支出>		
a 助成金支出	8,627,380	8,300,000
a-1 自主プログラム	107,380	300,000
a-2 指定寄付による助成金支出	8,520,000	8,000,000
b 助成等活動費	23,159,179	19,290,000
b-1 人件費	15,700,480	10,700,000
b-2 活動経費	1,846,274	2,400,000
b-3 謝金等経費	1,003,829	1,100,000
b-4 事務経費	2,252,662	2,000,000
b-5 地代家賃	2,270,400	2,290,000
b-6 指定助成業務費	0	0
b-7 20周年事業関連費	85,534	800,000
c 一般管理費	4,070,719	4,100,000
c-1 人件費	1,803,464	1,800,000
c-2 事務経費	563,165	500,000
c-3 地代家賃	581,490	600,000
c-4 租税公課	1,122,600	1,000,000
c-5 予備費	0	200,000
経常費用計	35,857,278	31,690,000
当期 一般正味財産増減額	△ 1,477,006	1,710,000
前期 繰越一般正味財産額	3,313,641	1,836,635
次期 繰越一般正味財産額	1,836,635	3,546,635

特定非営利活動法人 市民社会創造ファンド

2023年度【指定財産】予算（単位：円）

（2022年度：2022年10月1日～2023年9月30日）

	一般科目	2022年度 決算	2023年度 予算
指定財産寄付金 ハマダ基金 プログラム	指定寄付・助成収益	0	0
	受取寄付金		
	受取助成金		
	その他収益		
	一般正味財産への振替額	0	0
	助成金		
	ファンド運営費		
	指定助成業務費		
収支差額	0	0	
前期末指定正味財産	0	0	
今期末指定正味財産	0	0	
指定財産寄付金 タケダ・ ウェルビーイング ・プログラム	指定寄付・助成収益	10,250,000	10,000,000
	受取寄付金	10,000,000	10,000,000
	受取助成金	0	0
	その他収益	250,000	0
	一般正味財産への振替額	11,115,355	9,800,000
	助成金	8,520,000	8,000,000
	ファンド運営費	2,595,355	1,800,000
	指定助成業務費	0	0
収支差額	△ 865,355	200,000	
前期末指定正味財産	2,507,108	1,641,753	
今期末指定正味財産	1,641,753	1,841,753	
指定財産助成金 市民ファンド 推進プログラム (トヨタ)	指定寄付・助成収益	0	0
	受取寄付金		
	受取助成金		
	その他収益		
	一般正味財産への振替額	869,130	0
	助成金		
	ファンド運営費	869,130	0
	指定助成業務費	0	0
収支差額	△ 869,130	0	
前期末指定正味財産	869,130	0	
今期末指定正味財産	0	0	
合 計	指定寄付・助成収益	10,250,000	10,000,000
	受取寄付金	10,000,000	10,000,000
	受取助成金	0	0
	その他収益	250,000	0
	一般正味財産への振替額	11,984,485	9,800,000
	助成金	8,520,000	8,000,000
	ファンド運営費	3,464,485	1,800,000
	指定助成業務費	0	0
収支差額	△ 1,734,485	200,000	
前期末指定正味財産	3,376,238	1,641,753	
今期末指定正味財産	1,641,753	1,841,753	

一般正味財産への振替額

指定財産寄付金 (B-2)	11,115,355	9,800,000
指定財産助成金 (B-3)	869,130	0
計	11,984,485	9,800,000
指定財産助成金 (a-2)	8,520,000	8,000,000
ファンド運営費 (b-1~6の一部に充当)	3,464,485	1,800,000
指定助成業務費 (b-6)	0	0
計	11,984,485	9,800,000

特定非営利活動法人 市民社会創造ファンド

役員

○理事：(重任)

- 阿部 陽一郎 (社会福祉法人 中央共同募金会 常務理事)
- 安藤 雄太 (東京ボランティア・市民活動センター アドバイザー)
- 上田 英司 (認定特定非営利活動法人 日本 NPO センター 事務局次長)
- 実吉 威 (特定非営利活動法人 市民活動センター神戸 (KEC) 理事・事務局長、
公益財団法人 ひょうごコミュニティ財団 代表理事)
- 田尻 佳史 (認定特定非営利活動法人 日本 NPO センター 常務理事)
- 谷本 都栄 (帝京大学 冲永総合研究所 准教授)
- 中島 智人 (産業能率大学 経営学部 教授)
- 中村 陽一 (立教大学 名誉教授)
- 長澤 恵美子 (わくわく共創オフィス 代表)
- 山岡 義典 (認定特定非営利活動法人 日本 NPO センター 顧問、法政大学 名誉教授)
- 横田 能洋 (認定特定非営利活動法人 茨城 NPO センター・commons 代表理事)
- 渡辺 元 (公益財団法人 助成財団センター 理事)

○理事：(新任)

- 山口 郁子 (協同組織金融機関 職員)

○監事：(重任)

- 稲垣 正久 (市民社会創造ファンド 元事務局長)
- 平野 毅 (公認会計士)

○任期： 2023 年 12 月 21 日から 2025 年 12 月の総会終結時まで

以上

【参考資料】 市民社会創造ファンド 主催・協力助成プログラム 対象一覧

タケダ・ウェルビーイング・プログラム（2023 年度助成:2023 年 4 月以降 随時実施）

【新規助成】 助成件数:4 団件、助成金額:386 万円

プロジェクト名	団体名	都道府県	助成金額 (万円)
病気があっても主役になれる子ども育成プロジェクト～みんなで作ってみよう！スポーツ、料理、音楽 etc.心に寄り添う居場所づくり～	認定特定非営利活動法人心臓病の子どもを守る京都父母の会	京都	79
メタバース空間を活用した病気や障害のある子どものコミュニティづくりと子どもの QOL サポート役割マップの制作	一般社団法人 チャミングケア	大阪府	166
病気と闘う子ども達とサバイバーが繋がるメタバース語り場づくり	特定非営利活動法人 プロジェクトサンタ	兵庫県	91
入院中・長期療養中のこどもたち・そのきょうだい家族を支援するネットワーク「小児病棟わくわく応援団」の立ち上げ	小児病棟わくわく応援団	大阪府	50

【継続助成 2 年目】 助成件数:3 団件、助成金額:466 万円

プロジェクト名	団体名	都道府県	助成金額 (万円)
小児病棟の付き添い家族に温かい食事を届け、心も支える「ミール de スマイリング」事業 普及プロジェクト	特定非営利活動法人 キープ・ママ・スマイリング	東京都	172
医療的ケア児家族をつなぐスタッフ育成プログラムの実施とリーダー研修の開発	特定非営利活動法人 アンリッシュ	東京都	147
入院・療養中の子ども達に ICT を使って音楽を届ける活動	特定非営利活動法人 OnPal	福岡県	147

合計:助成件数7件、助成総額:852 万円

ハマダ基金プログラム（2022 年 4 月～2024 年 3 月）

プロジェクト名	団体名	都道府県	助成金額 (万円)
困難を抱える女性のための居住支援プロジェクト	認定 NPO 法人女性と子ども支援センター ウィメンズネット・こうば	兵庫	300

ファイザープログラム（2023 年度助成:2024 年 1 月～2024 年 12 月）

【新規助成】 助成件数:8 団件、助成金額:1,482 万円

プロジェクト名	団体名	都道府県	助成金額 (万円)
難民・避難民を含む在留外国人の精神科医療アクセス向上のための取り組み	社会福祉法人 日本国際社会事業団	東京	158
合理的配慮が必要な刑事被拘禁者支援事業～心身のケアと新型コロナ対応	特定非営利活動法人 監獄人権センター	東京	130
反貧困ネットワークニコニコ居場所プロジェクト	一般社団法人 反貧困ネットワーク	東京	230
難病者の生きる・働くセルフケアオンラインサービス開発に向けた調査・設計	特定非営利活動法人 両育わーるど	東京	94
在留外国人のヘルスケア・アクセスを支える CSO プラットホームに向けた基盤整備	特定非営利活動法人 ISAPH	東京	180
ものつくりを通して性被害当事者が安心して社会復帰を目指す居場所の確立	一般社団法人 OHANA	神奈川	250
心の不調があってもふつうに働ける職場を自分たちで生み出したい！	特定非営利活動法人 あかりプロジェクト	石川	270
若者による 10 代のための自死遺族ピアサポート	特定非営利活動法人 グリーンサポート・リヴ	大阪	170

【継続助成】 助成件数:6件、助成金額:981万円

プロジェクト名	団体名	都道府県	助成金額 (万円)
山谷の野宿者を継続的に医療に繋げるためのしくみづくり	一般社団法人 結YUI	東京	240
生活困窮状態にあるLGBT当事者の自立支援と地域ネットワーク構築	LGBTハウジングファーストを 考える会・東京	東京	150
リージョナルセンターのための隣癌 SCN サポーター養成講座開発プロジェクト	特定非営利活動法人 パンキャンジャパン	東京	165
食物アレルギーの子どもが必要としている子ども視点の自立支援の調査研究	FaSoLabo 京都	京都	150
コミュニティパントリー活動を広げるためのフードバンク活動連携事業	特定非営利活動法人 eワーク愛媛	愛媛	166
病気や障害のある人達と仲間でのびる出会い、体験、まち歩き事業	特定非営利活動法人 わくわく	福岡	110

合計 助成件数:14件、助成総額:2,463万円

パナソニック NPO/NGO サポートファンド for SDGs (2023年募集:2024年1月~2024年12月)

【新規助成】 助成件数:5団体、助成金額:716万円

プロジェクト名	団体名	都道府県	コース	助成金額 (万円)
東日本大震災による貧困対策として行ってきた移動支援を、地域に根差した持続可能な形態に転換させる取り組み	特定非営利活動法人 移動支援 Rera	宮城県	組織 診断	150
虐待などの背景で親を頼りづらい若者への持続可能なサポートのための組織診断	一般社団法人 Masterpiece	東京都	組織 診断	149
ひきこもり・ニート(若年無業者)・不登校の子どもや若者およびご家族の自立支援を持続的に運営するための組織診断	特定非営利活動法人 青少年自立支援施設淡路プラッツ	大阪府	組織 診断	149
社会的養護施設の人材確保・定着支援活動の継続に向けた組織マネジメント体制の強化	特定非営利活動法人 チャイボラ	東京都	基盤 強化	118
制度の隙間に溢れ落ちたこども・若者に切れ目ない支援を届けるための持続可能な組織構築を目的とした組織基盤強化	特定非営利活動法人 パノラマ	神奈川県	基盤 強化	150

【継続助成】 助成件数:4件、助成金額:784万円

プロジェクト名	団体名	都道府県	コース	助成金額 (万円)
自立に向けた生活困窮者支援事業を持続的に行うための組織基盤強化 (継続助成2年目)	一般社団法人 やまがた福わたし	山形県	基盤 強化	200
急拡大した組織の中期ビジョン・中期計画の策定及びスタッフ・財政基盤の強化 (継続助成2年目)	特定非営利活動法人 サンカクシャ	東京都	基盤 強化	186
不登校の子ども達の「関係の貧困」解消に向けてメンバーの多様性を生かすミッション・ビジョン・コアバリューの見直しと広報発信 (継続助成2年目)	特定非営利活動法人 多様な学びプロジェクト	神奈川県	基盤 強化	199
誰ひとり取り残さない支援の実現が可能な組織づくりに向けた具体的実践 (継続助成3年目)	一般社団法人 サステイナブル・サポート	岐阜県	基盤 強化	199

合計 助成件数:9件、助成総額:1,500万円

スミセイ コミュニティスポーツ推進助成プログラム (2022年度助成:2023年4月~2024年3月)

※アドバンスコースは2025年3月まで

【チャレンジコース】(地域におけるコミュニティスポーツのチャレンジと、その後の自立・発展をめざすもの)

■ 新規助成 助成件数:21件 助成金額:1,045万円

プロジェクト名	団体名	都道府県	助成金額 (万円)
わくわく三陸シーカヤックアドベンチャー	特定非営利活動法人 エムジョイ	岩手県 宮古市	50

性別年齢障がいをお問わないスポーツの普及で笑顔と健康を目指すプロジェクト	特定非営利活動法人 グッジョブクラブ	岩手県 一関市	50
CBC 多賀城スポーツクラブ	特定非営利活動法人 ケアブレンド	宮城県 仙台市	45
Beach Sports Project - 障害者にもビーチスポーツ体験でつくる共生社会 -	気仙沼ビーチサッカー委員会	宮城県 気仙沼市	50
みんなで楽しもう！インクルーシブな スポーツ体験プログラム	仙台市障害者スポーツ指導者協議会	宮城県 仙台市	50
スポーツを通して常総市を国際的に繋げる	Active Life	茨城県 常総市	50
廃校を活用した地域における障がい者スポーツ支援事業	特定非営利活動法人 クラブ・ドラゴンズ	茨城県 龍ケ崎市	50
サッカーを通じた外国人との多文化共生事業 “OneWORLD”	多文化共生 OneWORLD 実行委員会	群馬県 前橋市	50
インクルーシブスポーツ教室。 手話とタグラグビーを楽しみながら交流しよう！	特定非営利活動法人 地域総合スポーツ倶楽部・ピボットフット	東京都 大田区	50
車椅子スポーツを通じて、障害の有無に関わらず誰もが共に スポーツを楽しめる地域コミュニティをつくる～助け合 える共生社会をめざして～	一般社団法人 Knocku	東京都 渋谷区	50
日本の祭りを感じながら体を動かそう	特定非営利活動法人 白鳥学園	神奈川県 横浜市	50
「EX 型体力測定会キャラバン」 構築・展開プロジェクト	中部学院大学 スポーツカレッジ	岐阜県 関市	50
みんなのASOBI場プロジェクト	一般社団法人 ASOBI	静岡県 磐田市	50
三重県発祥のスポーツ SS ピンポンで 地域コミュニティを広げよう！	特定非営利活動法人 日本 SS ピンポン協会	三重県 伊勢市	50
地域・大阪体育大学と連携した どろんこレスリング、稲わらから手作りの大綱引きによる コミュニティスポーツ推進事業	特定非営利活動法人 棚田 LOVERS	兵庫県 神崎郡 市川町	50
朝食版子ども食堂 「朝活おはよう体操」	特定非営利活動法人 アスロン	兵庫県 芦屋市	50
「SDGs」:世界と遊ぼう！色々な国のコミュニティスポ ーツで国際交流	特定非営利活動法人 ワン・フォー・オール	山口県 宇部市	50
共生社会の実現に向けた車いすテニス体験会および ニューミックス大会の開催	一般社団法人 久留米市総合型 SC 桜花台クラブ	福岡県 久留米市	50
作って！乗って！竹馬プロジェクト	特定非営利活動法人 ITAL	熊本県 球磨郡 多良木町	50
離島の子どもたちの身体づくりとしての体操環境を	総合型地域スポーツクラブ 元気！わどまりクラブ	鹿児島県 大島郡 和泊町	50

■ 連続助成 助成件数:4件 助成金額:200 万円

プロジェクト名	団体名	都道府県	助成金額 (万円)
Chain of Smiles Project ～スポーツを通して秋田の 豊かさを体感しよう～	Chain of Smiles Project 実行委員会	秋田県 秋田市	50
インクルーシブ・フットボールプロジェクト 2023 「チャレンジド・サッカー広場」	一般社団法人 浦安市サッカー協会	千葉県 浦安市	50
「保育園でアクティブになろう！ スポーツプロジェクト」の自立と発展	特定非営利活動法人 明石アクティヴスポーツ	兵庫県 明石市	50
児童デイサービス巡回運動あそびプログラム	一般社団法人 サンビスカス沖縄	沖縄県 沖縄市	50

【アドバンスコース】(地域を超えたコミュニティスポーツの展開や、特定の地域におけるコミュニティスポーツの深化をめざすもの)

■ 助成 1 年目 助成件数:5 件 助成金額:776 万円 来年度助成予定金額(2年目):721 万円

プロジェクト名	団体名	都道府県	助成金額 1 年目 (万円)	助成金額 2 年目 (万円)
共生社会創造「くさの音プロジェクト」	特定非営利活動法人 あ・りーさだ	北海道 夕張市	150	150

地域の拠点となるコミュニティスポーツ	社会福祉法人 まちスウィング	愛知県 春日井市	191	109
多様な困難を持つ人が参加するダイバーシティリーグの全国展開&ダイバーシティサッカー・フェスティバルの開催	特定非営利活動法人 ダイバーシティサッカー協会	大阪府 大阪市	136	163
地域社会と取り組むソーシャル・サーカス「瀬戸内みんなのサーカス」プロジェクト	一般社団法人 瀬戸内サーカスファクトリー	香川県 高松市	150	150
妙音山スポーツフォレスト	妙音山を守る会	大分県 由布市	149	149

※尚、アドバンスコースは助成期間が2年間であり、昨年度(2021年度)に以下の4団体を助成対象として決定しており、2022年度も継続して助成を行う。

■ 助成2年目 助成件数:4件 昨年度助成金額(1年目):644万円 今年度助成金額(2年目):456万円

プロジェクト名	団体名	都道府県	助成金額 1年目 (万円)	助成金額 2年目 (万円)
スポーツにおける 子どもの安全保護プロジェクト	一般社団法人 S.C.P Japan	千葉県 流山市	150	150
総合型地域スポーツクラブ山梨がお届け元気なまちづくり で地域活性化	総合型地域スポーツクラブ山梨	山梨県 中巨摩郡 昭和町	100	100
MTB のすそ野を白馬から広げていこう、皆が楽しめる MTB 文化発信地としての地域づくり	白馬マウンテンバイククラブ	長野県 北安曇郡 白馬村	183	117
ビーチで体験する、スポーツの ノーマライゼーション。	一般社団法人 日本デフビーチバレーボール協会	大分県 大分市	211	89

合計 助成件数:34件、助成総額:2,477万円 ※アドバンスコース助成2年目の助成2年目・件数、金額を含む

東急子ども応援プログラム (2023年度助成:2023年4月~2024年3月)

■ 新規助成 助成件数:8件 助成金額:775万円

プロジェクト名	団体名	助成金額 (万円)
放課後フリースペース「まい す ペ〜す」、子育てひろば(赤ちゃんひろば)	特定非営利活動法人 こあら村	100
子どものための神奈川県交流会促進事業	一般社団法人 びじっと・離婚と子ども問題支援センター	100
子ども多文化交流事業	NPO 法人 Sharing Caring Culture	79
子どもの『非認知能力』育成フィールド ‘街の小さな自然づくり’	NPO 法人グリーンフィールド	97
生命にかかわる子どもと家族に豊かな時間を届ける	認定非営利活動法人 横浜こどもホスピスプロジェクト	100
地域で多様な子どもと若者がともに育ち合う場づくり	特定非営利活動法人 CFF ジャパン	99
障害のある子もいない子も一緒に。目と手で喋ろう！音で作ろう！耳で見て語らおう！！	一般社団法人 DRIFTERS INTERNATIONAL	100
～生きづらさを自分らしく生きる力に～ 未来まちづくりプロジェクト	特定非営利活動法人 キーパーソン 21	100

■ 継続助成 助成件数:5件 助成金額:475万円

プロジェクト名	団体名	助成金額 (万円)
キッズディレクター (楽しいデジタルコンテンツ制作と居場所づくり)	NPO 法人 ちいき未来	79
子どもの家庭での虐待予防に有効な「ホームスタート」事業の運営	ワーカーズ・コレクティブ子育て応援チーム すこっぴ	96
青葉台みらいクラブ	NPO法人 あおば学校支援ネットワーク	100
みつけ！ 愉快的音楽・畑くらぶ:子どもの五感を育むプロジェクト	愉音	100
横浜インターナショナルユースフォトプロジェクト	Picture This Japan	100

合計 助成件数:13件、助成総額:1,250万円

市民社会創造ファンドでは、会員・賛助会員を募集しています。市民活動助成を通じた新しい市民社会の創造にむけてご協力をお願いいたします。



発行 2024年2月14日
発行元 特定非営利活動法人 市民社会創造ファンド
〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町 1-4-3
日本橋 MI ビル 1 階
TEL 03-5623-5055 FAX 03-5623-5057
info@civildfund.org <https://civildfund.org>